

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月17日(金)

事務事業		防災施設整備維持事業		担当課	総務防災課	担当係	防災係	管理番号	2909	
総合計画	大項目	4	安心とやすらぎを感じられるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	備えができて安全・安心なまちづくり		根拠法令 個別計画等	災害対策基本法、深谷市地域防災計画				
	小項目	1	災害に強い防災体制の推進							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		防災倉庫の維持管理及び災害対応に必要な資機材、食料等の管理・購入を行うことで、災害時における市民の安全と必要最低限の食料等を確保するものである。また、市民や職員に対し情報を周知・伝達するため、防災行政無線等の維持管理を実施するものである。								
目的 ※何のために		災害時に市民の安全を確保するため								
対象 ※誰・何を対象に		防災倉庫及び防災行政無線								
手段 ※どのように		防災倉庫及び備蓄品の維持・管理並びに防災行政無線の維持・管理を実施し、情報の周知、伝達を行う。								
成果 ※何を求めるか		防災地区拠点及び防災行政無線の機能維持								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	2	総務費	1	総務管理費	11	災害対策費	防災施設整備維持事業	50,939,507
本事業の 主な業務		・ 防災行政無線の維持・管理							・	
		・ 保守点検業務委託							・	
		・ 防災倉庫及び備蓄品の維持・管理							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		防災倉庫及び備蓄品の維持・管理	防災行政無線保守点検業務委託防災倉庫及び備蓄品の維持・管理Jアラート装置更新工事	防災倉庫の保守管理 防災行政無線の保守点検管理	防災倉庫の保守管理 防災行政無線の保守点検管理 新庁舎への防災関係機器移設	防災倉庫の保守管理 防災行政無線の保守点検管理 新庁舎への防災関係機器移設	防災倉庫の増設 防災倉庫の保守管理 防災行政無線の保守点検管理
事業費	予算(現額)	8,434,000	22,886,000	27,522,000	101,819,000	60,693,000	48,920,000
	決算額	5,778,002	19,733,070	25,079,555	61,041,029	50,939,507	0
	財源内訳	国支出金	0	0	13,425,000	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	5,800,000	0	0	5,500,000
		他特定財源	568,000	961,939	1,058,529	111,146	28,000
		一般財源	5,210,002	12,971,131	24,021,026	50,828,361	43,392,000
人件費	従事職員数(人)	0.85	0.90	0.90	1.35	1.45	1.24
	人件費相当試算※	6,612,150	7,003,800	7,074,900	10,997,100	11,254,777	10,082,872
総事業費試算		12,390,152	26,736,870	32,154,455	72,038,129	62,194,284	59,002,872

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	備蓄食糧数		目標値	食	85000	65000	70000	75000	80000	60000
			実績値		60498	60568	72298	71730	73598	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和3年度末の地域防災計画の改訂に伴い、令和4年度から目標値を152,300食から60,000食に変更						
	実績値の算出式									
活動指標 2	防災行政無線保守点検数保守点検箇所件数		目標値	箇所	0	93	93	93	93	93
			実績値		0	95	93	92	94	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			消防本部、市役所、子局（276局に再送信局2局を含む）、Jアラート / 保守点検箇所総数279箇所						
	実績値の算出式									
成果指標 1	備蓄食糧の充足率		目標値		55.81	42.68	45.96	49.24	52.53	100
			実績値		39.72	39.76	47.47	47.1	48.3	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			備蓄食料数÷152,300食（※令和4年度から分母を60,000食とし、目標値（充足率）を100%とする）						
	実績値の算出式									
成果指標 2	防災行政無線放送回数迷い人、詐欺、熱中症、防犯等		目標値	件						
			実績値		183	261	263	271	254	0
	目標値の算定根拠/実績値の出所			発生事例により放送するため事前に目標値を定めるものではない / 発生事例により放送するため						
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
			目標値							
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に合う成果がでているかを評価します。  
（評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

（1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	備蓄食料数は、目標値を下回っているが、令和4年2月に改訂した地域防災計画において、備蓄食料の目標を60,000食に見直したことから、現時点で充足していることになる。 また、防災行政無線放送点検数もほぼ目標値どおりであるため、A評価とする。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	活動指標の評価において記載したとおり、現時点で備蓄食料の充足率は100%を超え、必要数を確保できていることからA評価とする。
			評価者

（2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
（評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	備蓄計画において、備蓄食料のローリングストック方式による管理を確立し、食料の入れ替えの効率化や予算の平準化を行っている。
			評価者 防災係長 小川 和成

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	・令和3年度の地域防災計画の改訂に合わせて、必要となる備蓄食料数も見直し行うため、食料の備蓄計画を見直す。
達成状況及び その効果	地域防災計画の改訂に併せ、備蓄計画を見直し、備蓄食料数の見直しのほか、衛生用品等の備蓄品の見直しを行った。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	防災施設整備維持事業	担当課	総務防災課	担当係	防災係	管理番号	2909
<div><div>■ ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div> <div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>食料等の備蓄品については、今後も計画的にローリングストック方式による入れ替えを行っていく。なお、今後は、防災倉庫が整備されていない避難所への、防災倉庫の設置について計画的に進めていく必要がある。防災行政無線については、引き続き保守点検や維持管理を適切に実施していく。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	課長 菅原 孝一				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	市内最大の避難者収容可能施設である深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）の敷地内に、防災倉庫を増設し、災害時に備蓄品をより迅速に提供できる体制を整備する。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	防災倉庫が整備されていない避難所への、防災倉庫の設置について計画的に進めていく

8. 評価指標グラフ

